コモンズの悲劇

コモンズの悲劇とは、経済学における法則の一つで、公共の資源を個人が乱用する事により、公共の資源の価値が下がると言う意味です。

例えば、オフィスでの空間と言う公共の資源があるわけですが、社員のみんなが仕事に集中したいのにも関わらず、気が散るような大声で喋ったり、やたらと歩き回ったりして、社員の生産性を下げてしまうわけです。

他にも、ミーティングと称して社員を拘束し、会社での就業時間と言う公共の資源を生産性の無い時間に変えてしまう事もよくあるでしょう。

道にポイ捨てしたり、海を汚したり、「それ位なら大丈夫でしょ」と言うあなたの言動が、どのように、他人に対して、社会全体に対して影響を与えるのか？と考えさせられる、そんな法則がコモンズの悲劇です。